

實質の問題を如何なる態度にて扱はんとするか。如何にして、その問題を尤も有効に扱はんとするか。此れをたとへば、日々に起り来る社會問題、政治問題にへつて、議會政策主義とどうんとし、又はその戦略に於て、知らず知らず議會行動に入ろうとするものがある。それと全く反對に階級闘争の上に立つて、大膽に階級の利益擁護の爲に、彼等自身の力カキみをもつて、行動しやうとするものがある。——即ち方法、形式の問題である。此れについて、如何なる態度をとるべきかと決す

るは將來に涉る運動を正しきに置くか迷行におとし入る、かの分歧点である。且又運動自体を尤も有効ならしむるか否かの分歧点である。此れをかんかへる時無産階級が箇々の問題に對する態度の決定は尤も深甚の留意を要すべきである。

無産階級政策調査會は此の点の重大意義を考慮して起り。

大正拾貳年八月